



平成29年 4月14日
福島河川国道事務所

「日本風景街道」登録証伝達式の開催

～ 「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」が福島県内で4ルート目として登録されました ～

国土交通省福島河川国道事務所は、日本風景街道に登録申請のあった「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」が福島県内で4ルート目として「日本風景街道」に登録されたことから「登録証の伝達式」を開催します。

今回登録される「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」は、旧「有料観光道路」沿線の商工会・観光協会・市町村などが参加する「磐梯吾妻観光推進協議会」（会長：渡邊和裕）が申請したもので、東北で21ルート目、福島県内で4ルート目の登録となります。

「日本風景街道」と「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」の概要は別添のとおりです。

1. 日本風景街道「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」 登録証伝達式

2. 日 時 平成29年4月19日（水） 14：00～15：00

3. 場 所 福島河川国道事務所 大会議室（3階）

4. 式次第

○ ルート概要説明 福島県観光物産交流協会観光部長 佐藤 敬

○ 登録証交付

○ あいさつ 磐梯吾妻観光推進協議会会長 渡邊 和裕
福島河川国道事務所事務所長 石井 宏明

発表記者会〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024（546）4331（代）

もとき まさのぶ

副所長（品確） 本木 雅信（内線206）

かとう けいいち

計 画 課 長 加藤 桂一（内線261）



風景街道とは

■ 日本風景街道の目的

日本風景街道とは、道路（街道）を舞台として、地域住民・NPO・企業・行政などの多様な方々が「協働」して、道路（街道）沿線における「自然・歴史・文化など」の地域資源を活かしながら、美しい国土景観の形成を図り、地域の活性化や観光の振興をめざすことを目的としています。



■ 風景街道を構成する要素

日本風景街道は、「地域の資源」「活動主体」（風景街道パートナーシップ）「活動内容」「活動の場」（中心となる道路）から構成されるもので、全体を総称して「風景街道」としています。

■ 福島県内で4ルート目の登録

東北地方の風景街道は、全部で20ルートが登録されており、福島県内では次の3ルートが登録されています。今回の「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」は4ルート目の登録となります。

【これまでの登録ルート】

- ふくしま浜街道ハッピーロード
- 桑折宿まちなか街道
- 城下町あいづ道草街道

【今回の登録ルート】

- 磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン
- 次頁に概要を添付



大パノラマの観光道路「磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン」

◆磐梯朝日国立公園内を巡るルート

■活動目的

磐梯朝日国立公園内を走る観光道路は、磐梯山・吾妻山などの山岳と五色沼など湖沼群を縫っており、その雄大で美しい景観は誰もが堪能できる大パノラマであるとともに、豊かな温泉やフルーツ王国の味も堪能できる地域であることから、良好な景観の保全と観光振興を通して活力ある地域づくりをすすめる。

■構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

「磐梯吾妻観光推進協議会」（会長：渡邊 和裕）

【道路管理者以外の組織】

自然公園財団浄土平支部、福島商工会議所、北塩原村商工会、磐梯町商工会、猪苗代町商工会、福島市観光コンベンション協会、裏磐梯観光協会、磐梯町観光協会、猪苗代観光協会、飯坂温泉観光協会、高湯温泉観光協会、土湯温泉観光協会、岳温泉観光協会、福島市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町

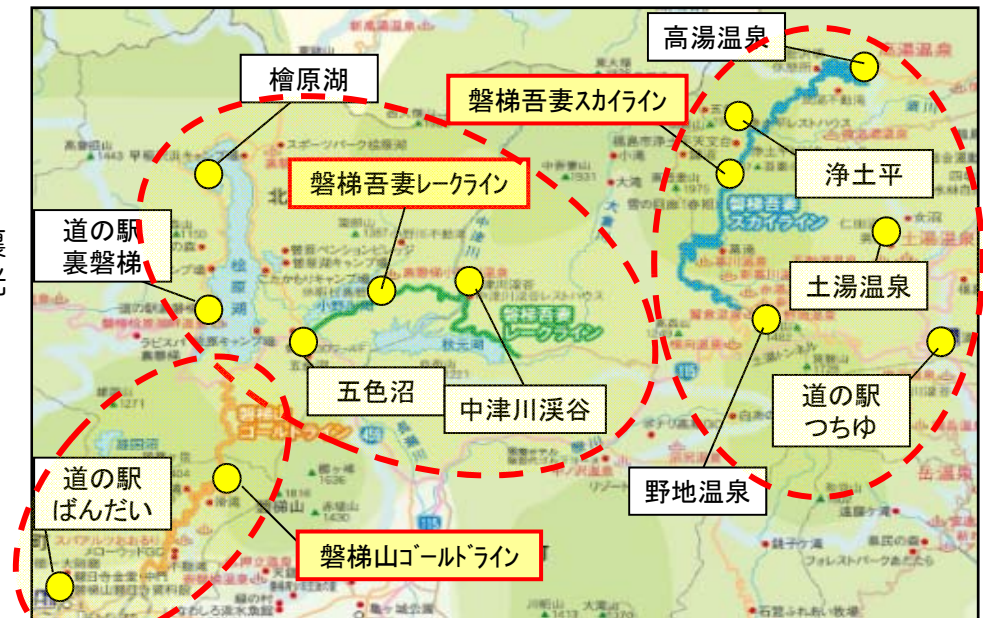
事務局：福島県観光物産交流協会

【道路管理者】

福島県県北建設事務所、福島県喜多方建設事務所

■地域資源

- 国立公園：「磐梯朝日国立公園」
- 自然資源：浄土平、吾妻小富士など（スカイライン）
檜原湖、五色沼、中津川渓谷（レークライン）
磐梯山、猪苗代湖の眺望（ゴールドライン）
- 温泉地：高湯温泉、土湯温泉、野地温泉など
- 施設・情報資源：
道の駅「つちゆ」「裏磐梯」「ばんだい」
つちゆロードパーク、浄土平天文台、浄土平レストハウス、
裏磐梯ビジターセンター、中津川渓谷レストハウスなど
- グルメ：裏磐梯Joff、磐梯山岩なだれカレー



◆磐梯吾妻スカイライン
(吾妻小富士と浄土平)



◆磐梯吾妻レークライン
(中津川渓谷の紅葉)



◆磐梯山ゴールドライン
(磐梯山登山の玄関口)